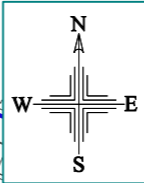


金沢市 ため池 ハザードマップ

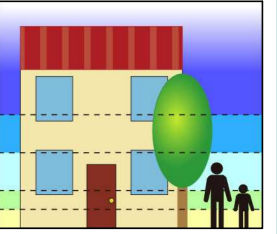
花園地区（西部）

ひなんちず (避難地図) 平成28年3月作成



ため池決壊による浸水想定区域

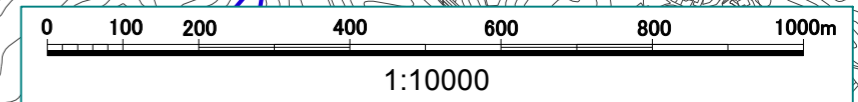
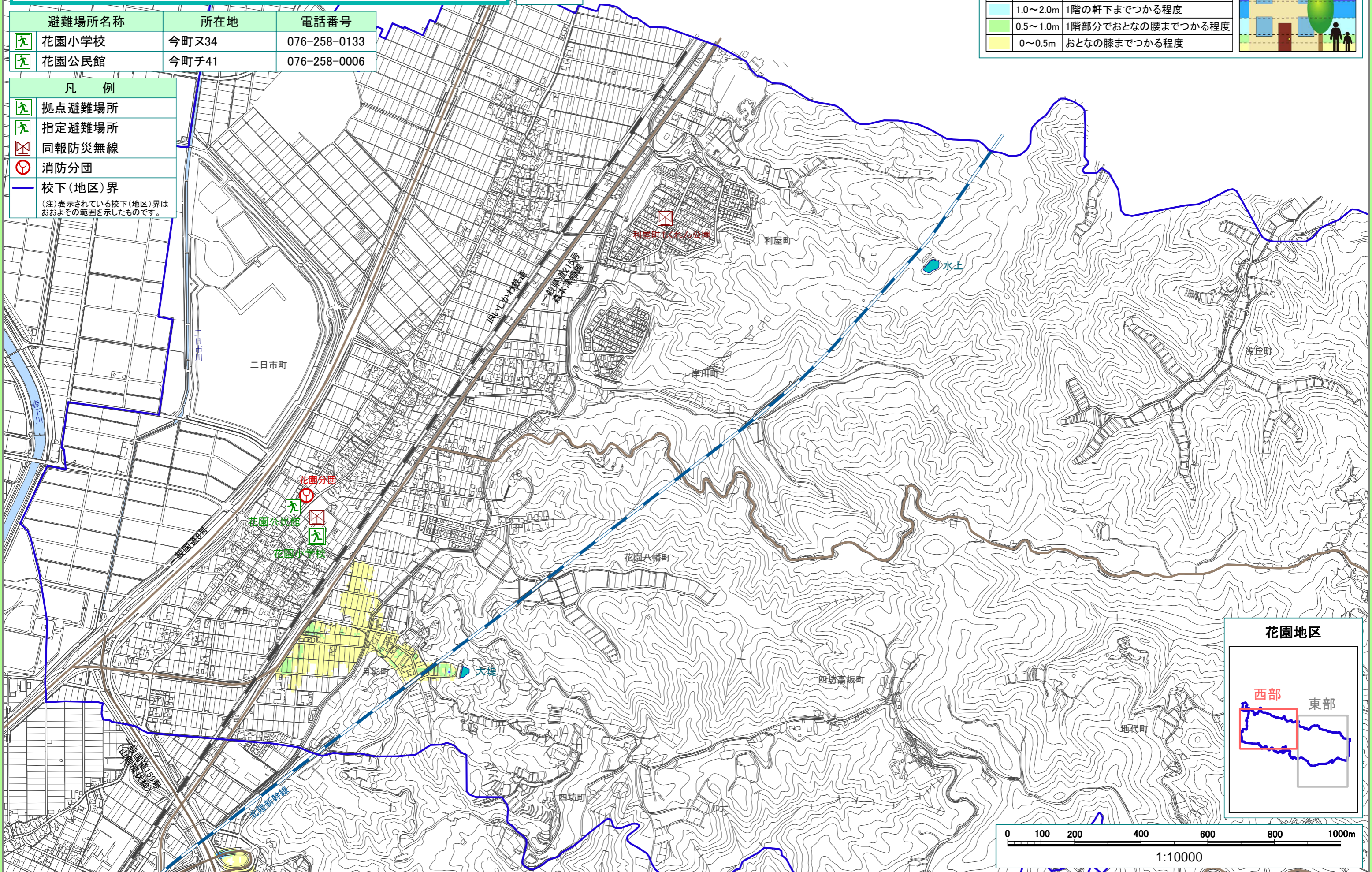
| 浸水深 | 水深の目安 |
|----------|-------------------|
| 3.0m以上 | 2階部分までつかる程度 |
| 2.0~3.0m | 1階の軒下までつかる程度 |
| 1.0~2.0m | 1階部分でおとなの腰までつかる程度 |
| 0.5~1.0m | 1階部分でおとなの膝までつかる程度 |
| 0~0.5m | おとなの膝までつかる程度 |



| 避難場所名称 | 所在地 | 電話番号 |
|--------|-------|--------------|
| 花園小学校 | 今町又34 | 076-258-0133 |
| 花園公民館 | 今町子41 | 076-258-0006 |

| 凡 例 | |
|-----|---------|
| | 拠点避難場所 |
| | 指定避難場所 |
| | 同報防災無線 |
| | 消防分団 |
| | 校下(地区)界 |

(注) 表示されている校下(地区)界はおおよその範囲を示したものです。



金沢市ため池ハザードマップ

ひなんちず
《避難地図》



この「**金沢市ため池ハザードマップ**」は、金沢市内にあるため池の浸水想定区域をもとに、市民のみなさんが**避難**するために必要な各種情報をまとめたものです。

避難に関する情報及び市から提供する情報、さらにこの金沢市ため池ハザードマップを利用していただき、市民のみなさん一人ひとりの行動と町内会・自主防災会による行動で少しでも被害を無くすことを目的としています。

ため池の浸水想定区域について

ため池の「**浸水想定区域**」は、それぞれのため池が満水時に瞬時決壊した場合、浸水する可能性のある区域を示しています。地震や大雨の際に決壊した場合、降雨量や河川の状況により、浸水区域がさらに広がったり、浸水深さが予測よりも深くなる可能性があります。

ため池の決壊時には、ほかの災害も重なる可能性がありますので、家庭や地域で防災・減災を考える際には、防災マップや洪水避難地図、土砂災害避難地図、津波避難地図を併せて活用してください。【[金沢市公式ホームページ「いいねっと金沢」防災・安全→防災マップ関連](#)】

ため池の被災メカニズム

| 地震によるため池の被災メカニズム | | 豪雨によるため池の被災メカニズム | |
|------------------|--|------------------|---|
| <p>(クラック)</p> | 堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。 | <p>(浸透破壊)</p> | 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇した時に堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。 |
| <p>(沈下)</p> | 堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。 | <p>(すべり破壊)</p> | 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。 |
| <p>(斜面崩壊)</p> | 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。 | <p>降雨による浸透</p> | |
| <p>(斜面すべり)</p> | 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。 | <p>貯水からの浸透</p> | |
| <p>(崩壊)</p> | 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液化化によるものと考えられます。 | <p>(越流破壊)</p> | 豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。 |

ため池の異常を発見した場合には、**金沢市**にご連絡ください。

《連絡及びため池ハザードマップに関する問い合わせ》

金沢市農林局農業基盤整備課
〒920-8577 金沢市広坂 1-1-1
電話：076-220-2215 FAX：076-222-7291

避難時における行動

◆◆◆ 日頃から、避難時の持ち出し品の事前準備や避難場所・避難経路を確認しておき、ご近所との「日常的な交流」を心掛け、地域の自主防災会が行う避難訓練に参加しましょう。◆◆◆



避難準備

ガスなどの火元を消し、非常用持ち出し品を準備するなど、避難の準備を整え、早めの支援が必要な高齢者や子ども、体の不自由な方などの避難を開始させてください。

避難勧告

準備した持ち出し品を持ち、計画された避難場所などへ速やかに避難を開始してください。その際、動きやすい服装で、ひとりでの避難はさけてください。また、がけ崩れや浸水箇所にも注意してください。

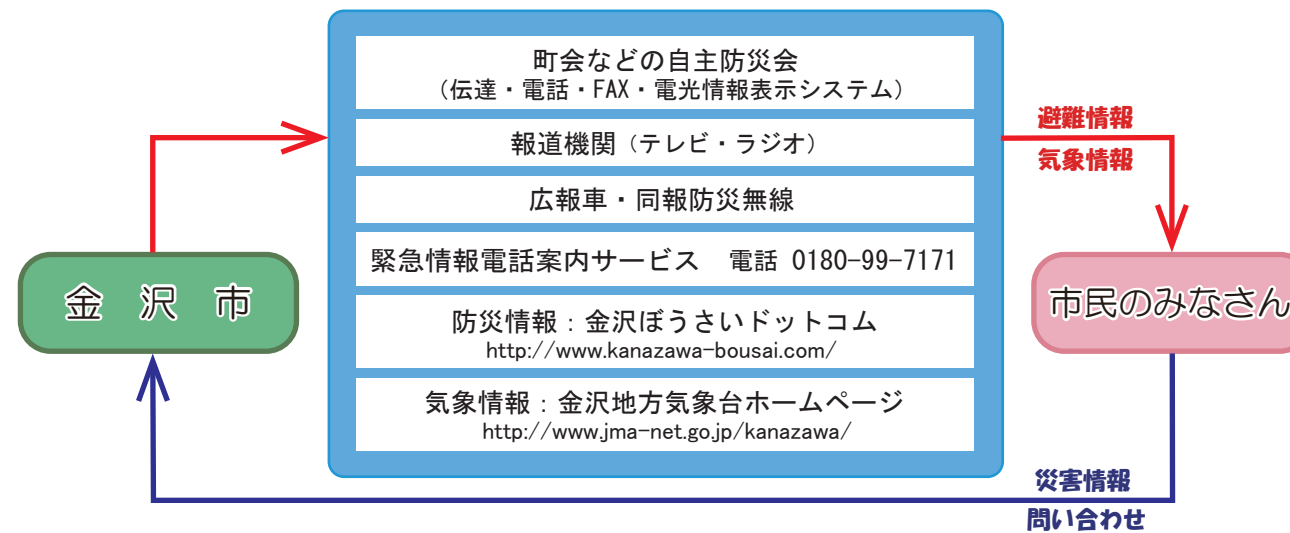
避難指示

災害の危険性が高くなっていますので、一刻も早い避難が必要です。関係機関の誘導に従って避難を開始してください。避難場所への移動が困難な場合には、とりあえず安全な場所、丈夫な建物の二階以上に避難するなど、命を守る行動をとってください。

※避難情報が発表されていない場合でも、降雨が続くなど身の危険を感じた場合は周りの人と自主的に安全な場所に避難（**自主避難**）して下さい。

避難に関する情報

■避難情報は下図のような方法で市民のみなさんに伝達され、また情報収集ができます。



災害や災害の兆候を発見した場合は、すぐにその場を離れ、金沢市にご連絡ください。

◇農業基盤整備課 電話 076-220-2215

◇危機管理課 電話 076-220-2060

緊急時・災害時の電話

☆消防：火災・緊急・救助
電話 119

☆警察：犯罪・防犯・交通事故
電話 110

安否確認は、災害用伝言ダイヤル 電話 171

災害発生により、被災地に向けての通話がつながりにくい状況になった場合に、NTTが実施する伝言ダイヤルサービス。被災地内の家族や親戚などとの連絡を可能にします。(通常時は使えません)

